

村松幼稚園への登降園時の交通手段の確保について

1

2

3

4

5

		村として新たな交通手段の確保はしない（従来の交通手段の中で対応）		村として新たな交通手段を確保する		
		路線バス	デマンドタクシー（あいのりくん）	園バス	ジャンボタクシー（相乗り）	タクシー（セダンタイプ／個別対応）
交通手段		（東海駅東口～東海中学校） ※南台・F須和間～東海駅東口路線あり 8：30→8：33／13：52→13：55 9：19←9：15／14：56←14：49	月曜日～金曜日：午前8時～午後5時 （30分間隔） * 午前便，夕方便が混雑	大型（45人），中型（27人） 小型（25人），マイクロ（20人） * 村内数か所にバス停を設置／添乗員乗車	9人乗り * 乗降場所に集合し，相乗り 添乗員乗車	4人乗り * 各家庭からタクシー乗車 保護者同乗
		170円／回 * いばっぴの割引あり	300円／回 * 6歳未満児＋保護者は200円／回・2人	購入／リース／委託		初乗（2kmまで）740円
	メリット	<ul style="list-style-type: none"> 保護者 園児 <ul style="list-style-type: none"> 親子で通園ができるので，登降園時に子どもの園での様子を確認することができる バスが好きな子は通園を楽しめる 公共交通機関の使い方を学べる 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者 園 行政 <ul style="list-style-type: none"> 親子で通園ができるので，登降園時に子どもの園での様子を確認することができる ドアtoドアでの移動ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者 園 行政 <ul style="list-style-type: none"> 地区内での乗降になるので，保護者の送迎の負担が軽減される バス停で地区内の保護者間のコミュニケーションを図ることができる お友達と一緒に通園し，送迎時のバスの中も楽しめる 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者 園 行政 <ul style="list-style-type: none"> 地区内での乗降になるので，保護者の送迎の負担が軽減される 乗降場所から直接園に向かうため，乗車時間が短くて済む 乗降場所から直接園に向かうため，乗車時間が短くて済む お友達と一緒に通園し，送迎時の車中も楽しめる 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者 園 行政 <ul style="list-style-type: none"> ドアtoドアでの移動ができる 家庭の都合で出発時間を調整できる 乗降場所から直接園に向かうため，乗車時間が短くて済む 親子で通園ができるので，登降園時に子どもの園での様子を確認することができる 預かり保育利用時にも対応ができる
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 保護者 園 行政 <ul style="list-style-type: none"> 子どもの園での様子やケガ等の状況を保護者に直接説明することができる 既存の公共交通を活用して交通手段を確保することができる 公共交通活性化の一助となる 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者 園 行政 <ul style="list-style-type: none"> 子どもの園での様子やケガ等の状況を保護者に直接伝えることができる 既存の事業を活用して交通手段を確保することができる 普通車両なので，既存の駐車場等で乗降できる 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者 園 行政 <ul style="list-style-type: none"> 登降園時に自家用車による道路の混雑悪化を緩和できる 通常時の駐車場の拡張が不要となる 〔バスを所有した場合〕園外保育や幼小交流等，保育の幅が広がる 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者 園 行政 <ul style="list-style-type: none"> 登降園時に自家用車による道路の混雑悪化を緩和できる 少人数のため，添乗員が子どもの様子を把握しやすい（受入体制の負担も軽減される） 普通車両なので，バスと比べると乗降場所の確保がしやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者 園 行政 <ul style="list-style-type: none"> 子どもの園での様子やケガ等の状況を保護者に直接伝えることができる 欠席時の連絡等を保護者とタクシー会社とで直接連絡となることにより，利用管理の負担を軽減できる 普通車両なので，乗降場所の確保がしやすい 	
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 保護者 園 行政 <ul style="list-style-type: none"> 利用料金がかかる バス停からやや移動距離がある 利用できる時間が限られる 荷物が多い際，移動の負担が大きい 路線が限られているため，駅東口までの移動手段がない方には利用しづらい 兄弟のお迎えの時間が重なってしまう恐れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者 園 行政 <ul style="list-style-type: none"> 利用料金がかかる 利用予約の手間がかかる 利用者が多いため，確実に利用できるかが不確定 時間が不確定なため，登園時間帯に間に合わない可能性がある 18時まで預かり保育を利用した場合は，帰りの便が対応できない 兄弟のお迎えの時間が重なってしまう恐れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者 園 行政 <ul style="list-style-type: none"> 教師と保護者とのコミュニケーションの機会が減る（子どもの様子を直接確認する機会が減る） 〔バス停が多く長時間の乗車になった場合〕園児が疲れてしまったり車酔いをしてしまう可能性がある 預かり保育を利用した場合等，通常と異なる降園時には利用が困難になる 費用負担が生じる 決められた時間でしか利用できない 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者 園 行政 <ul style="list-style-type: none"> 教師と保護者とのコミュニケーションの機会が減る（子どもの様子を直接確認する機会が減る） 預かり保育を利用した場合等，通常と異なる降園時には利用が困難になる 費用負担が生じる 決められた時間でしか利用できない 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者 園 行政 <ul style="list-style-type: none"> 欠席の際や利用時間が異なる際は，業者との調整の負担が生じる 兄弟のお迎えの時間が重なってしまう恐れがある。 費用負担が生じる 	
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 園 行政 <ul style="list-style-type: none"> 村が運営しているものでないため，随時運行状況等の確認が必要となる 	<ul style="list-style-type: none"> 園 行政 <ul style="list-style-type: none"> 既に混雑している予約時間帯をさらに圧迫することになる 利用者の状況によってはタクシーの増便をする必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> 園 行政 <ul style="list-style-type: none"> 教師と保護者とのコミュニケーションの機会が減る（子どもの様子を直接伝える機会が減る） バスの運行管理に新たな経費が必要となる（バス購入費，バスの維持管理費，運転手人件費等） 運転手以外に添乗員や乗降時の受入対応職員の確保が必要となる バスの乗降場所の確保が必要となる 利用管理（欠席児童の確認等）が必要となる 受入れ体制等の確保のため時差勤務になると，職員会議の確保時間が難しくなる 	<ul style="list-style-type: none"> 園 行政 <ul style="list-style-type: none"> 教師と保護者とのコミュニケーションの機会が減る（子どもの様子を直接伝える機会が減る） 希望者が多数となった場合，複数台の配車が必要となり，必要台数確保できるかが不確定 添乗員や乗降時の受入対応職員の確保が必要となる 送迎時の車両の待機場所の確保が必要となる（駐車場の拡張の検討が必要となる） 利用管理（欠席児童の確認等）が必要となる 	<ul style="list-style-type: none"> 園 行政 <ul style="list-style-type: none"> 希望者が多数となった場合，必要台数を確保できるかが不確定 費用負担割合によっては，園児1人に対する教育経費の平等性を欠く恐れがある 送迎時の車両の待機場所の確保が必要となる（駐車場の拡張の検討が必要となる） 保護者と業者との連絡調整が不足していた場合の対応が必要となる 	
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の拡張や道路環境の整備（自家用車での通園児が増える可能性が高いため） 利用料金の補助制度の導入の必要性 			<ul style="list-style-type: none"> 対象者（例：自家用車での通園が困難な方に限定／自家用車での通園手段が可能でも希望者は対象／統合される園のみ対象等） 乗降場所（例：地区ごと（コミセンや幼稚園跡地）にバス停を設置／村松幼稚園での乗降場所等） 利用者の費用負担（例：保護者に求める費用負担／所得に応じた減免等） 		

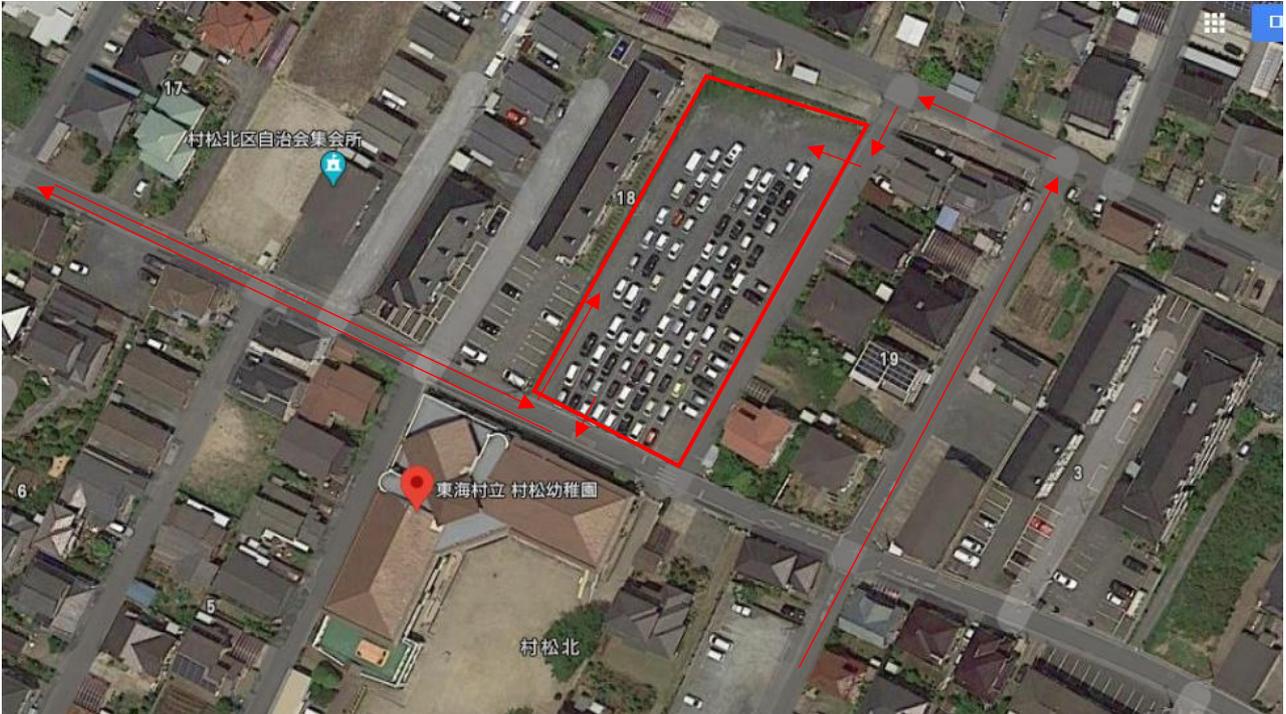
【基本方針】

- ①自家用車での通園が困難な家庭に対しては，何等かの手段を保証する必要がある
- ②自家用車での通園が可能な家庭については，原則，自家用車での送迎を基本とする
ただし，自家用車以外の通園方法を希望する家庭には，①と同様の手段を確保する

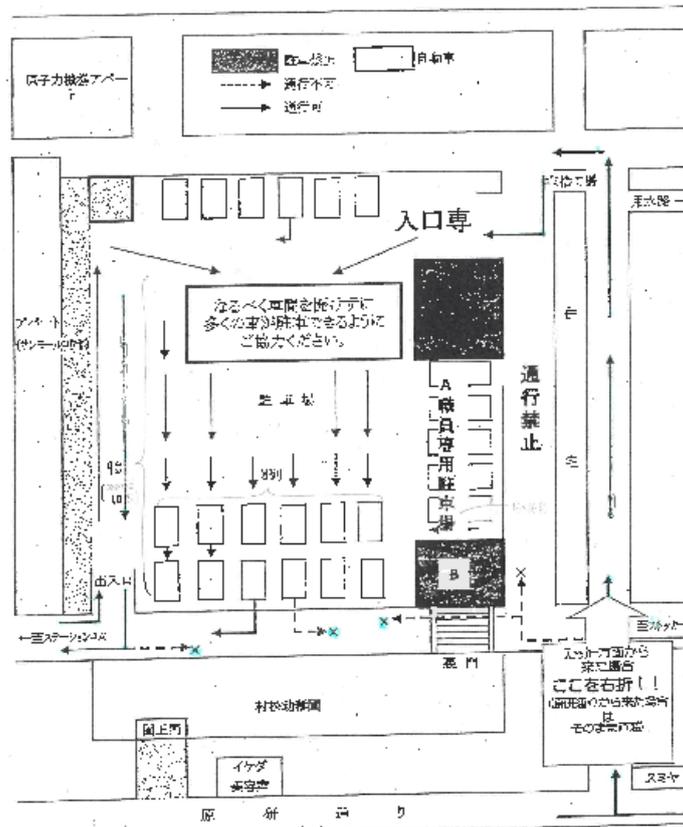
駐車場

▼現在の駐車場

- ・保護者と職員が同じ駐車場を使用。
- ・現状で満車状態であり、行事等の場合は時間差をつけたり、学年ごとに駐車場所の割り振りを変えたりするなど、保護者の協力を得ながら運用している。



幼稚園 裏門（駐車場）利用について



- ※ 横断歩道の通り抜けは、事故につながる恐れがありますのでおやめください。
- ※ 幼稚園側に駐車する車両は、同方向につめて駐車してください。
- ※ Aは職員専用駐車場です。保護者の方は駐車しないでください。
- ※ Bは2台分駐車禁止区域

▼新たな駐車場の確保

近隣の村有地としては、以下の2点が挙げられる。

①東海中学校（第2駐車場）



- ・園までの直線距離は約 150 メートル。
- ・二軒茶屋原研線（原研通り）を横断する必要あり。
現時点で考えられるルートは、歩道橋／幼稚園前の横断歩道（信号無）／東海中前の横断歩道（信号有）。

②交番跡地



- ・園までの直線距離は約 400 メートル。
- ・園までの移動ルートは、二軒茶屋原研線（原研通り）を使用／裏通りを使用。

▼その他の工夫の方法

- ・新たな駐車場は、既存の駐車場と比べると距離が遠くなる。
⇒園児の年齢にあわせて使用する駐車場を割り振る等の対応が必要になるか。
- ・運動会や保育参観のように、全保護者が一斉に来園する場合の必要台数も確保できる体制を取る必要があるか
⇒常時でなくとも、臨時的な駐車場確保の手法を検討しておく必要がある。